### **Contents**

Unit <b>1</b>	英語表現の基本:主部と述部、節と句、目的語、補語	<b>—</b> 7
Unit <b>2</b>	時間の表現 I :時間と時制	12
Unit <b>3</b>	<b>時間の表現Ⅱ:</b> 進行形 ————————————————————————————————————	17
Unit 4	<b>時間の表現Ⅲ:</b> 完了形 ————————————————————————————————————	22
Unit <b>5</b>	話し手の視点:能動と受動 —————	28
Unit <b>6</b>	つなぐ表現:接続詞 ————————————————————————————————————	33
Unit <b>7</b>	動詞のさまざまな形 I : 不定詞 ———————————————————————————————————	38
Unit <b>8</b>	<b>動詞のさまざまな形Ⅱ:</b> 分詞 ————————————————————————————————————	44
Unit <b>9</b>	動詞のさまざまな形Ⅲ:動名詞 ————————————————————————————————————	50
Unit <b>10</b>	<b>修飾の表現 I :</b> 形容詞と副詞	56
Unit <b>11</b>	修飾の表現Ⅱ:関係詞 ————————————————————————————————————	62
Unit <b>12</b>	程度の表現:比較 ————————————————————————————————————	68
Unit <b>13</b>	空間と時間の表現:前置詞	74
Unit <b>14</b>	主観を反映する表現 I: 法助動詞	80
Unit 15	主網を反映する表現Ⅱ:仮定法	86

#### Unit 英語表現の基本

>>> 主部と述部、節と句、 目的語、補語

ことばによる表現の基本となる単位を文(sentence)と呼びます。文とは、語がある順序で並び、事実や考 え、感情や意志などを表現するものです。

## 文の基本

#### (1) 主部と述部

英語の文は、通例、話題となる部分と、話題について何かを述べる部分から 成り立っています。話題となる部分を**主部**、話題について述べる部分を**述部** と呼びます。

主部の中心となる語を、**主語**と呼びます。また、述部の中心となって動作や 状態を表す語を、**述語動詞**と呼びます。

右の例文の太字の語が主語、下線 部の語が述語動詞です。

主部

沭 部

We

study English.

My favorite **program** ended last week.

The tall **woman** at the counter is always kind to me.

次の各文の主部と述部、および、その中心となる主語と述語動詞を指摘しな さい。

- (1) A lot of people visit Australia every year.
- (2) Everyone in his family likes cooking.
- (3) The man in the uniform is a firefighter.

#### (2) 節と句

文の一部を成し、その中に「主部+述部」の形式を備えているものを節と呼 びます。

節 -The news that the actress was arrested surprised me. 主部 述部

節-I didn't know that Bob had a car accident. 主部 述部

When you are in the class, you have to turn off your mobile phone. 主部 述部

文の一部を成すが、その中に「主部+述部」を備えていない語のかたまりを **句**と呼びます。

右の文中の [ ] の要素が句です。

[ The woman [ in the shop ]] [ recommended [ this nice dress ] to me ].

Could you tell me [ how to use this machine ]?



ポイント 1

述語動詞が表す動作の対象となる要素を**目的語**と呼びます。

CD ▶02

目的語になれるもの

目的語となれるのは、通例、名詞や代名詞です。日本語では目的語を必要としない表現でも、英語では目的語(oneself など)を必要とする場合があります。また、「~へ近づく(approach)」や「~へ入る(enter)」などは、移動先が目的語で表現されます。

My brother broke his watch.

The engineers invented a new computer system.

We enjoyed ourselves.

All the students entered the auditorium.

ポイント 2

2つの目的語

述語動詞の中には、「人(~に)」と「物(~を)」の2つの目的語をとるものもあります。「~に」にあたる語句を**間接目的語**、「~を」にあたる語句を**直接目的語**と呼びます。

My friends gave me the birthday present.

Mr. Smith bought his son a new video game.

ポイント 3

間接目的語を「to +目的語」や「for +目的語」という形にして、直接目的語の後に置く表現も可能です。通例、「to +目的語」は動作の着点を、「for +目的語」は動作の受益者を表しており、それぞれ新しい情報として強調するという役割をもっています。

①[to +目的語」型の述語動詞

give, hand, lend, offer, send, show, teach, tell, write など

My friends gave the birthday present to me.

②「for +目的語」型の述語動詞

buy, choose, cook, find, get, make, order, sing など

Mr. Smith bought a new video game for his son.

## Exercise 2

次の各組の文がほぼ同じ意味を表すように()に適切な前置詞を入れなさい。

(1) Mr. Benson teaches us English literature.

Mr. Benson teaches English literature ( ) us.

(2) My wife cooks me a nice meal.

My wife cooks a nice meal ( ) me.

## 3 補語

主語の性質や状態などを表す語句を補語と呼びます。

D ▶03

ポイント 1

補語は、通例、名詞や形容詞で表されます。補語を必要とする述語動詞は、主語と補語を結びつける役割をもち、be 動詞がその代表的なものです。その他、appear, become, feel, get, keep, look, remain, seem, smell, sound, taste などがあります。

Hiroko's mother is a politician.

This homemade cake tastes **delicious**.

ポイント 2

補語の中には、目的語の性質や状態を表すものもあります。この場合、目的語と補語の関係は、主部と述部の関係にあたることに注意が必要です。

右の文中の下線部が目的語、太字 の語が補語です。 We call our dog Hachi.

He left the door **open**.

## Exercise 3

下線部の語(句)が、目的語であるか補語であるか答えなさい。

- (1) She became a lawyer.
- (2) She consulted a lawyer.
- (3) The boy cut himself with a broken glass.
- (4) A stranger approached me on the street.
- (5) John made his sister angry.
- (6) John made his sister a handmade toy.

CI	D
Þ	04

**平叙文** We are students at this university.

Kenji went to France to study music.

I will mail this letter on my way home.

疑問文 Are you going to the dance tonight?

Does Mike come to school by bicycle?

Can you play tennis?

When did you get married?

You like chocolate, don't you? (肯定の付加疑問文)

You didn't study last night, did you? (否定の付加疑問文)

命令文 Do it yourself.

Don't be so shy.

Please drive more carefully.

Study hard, or you'll fail the exam.

Let's go to the movies.

感嘆文 What a pleasant morning it is!

How fast the boy can run!

Exercise 4 日本文の意味にあうように ( ) に適切な語を入れ、英文を完成しなさい。							
(1)十分に休息をとりなさい、さもないと病気になりますよ。							
Take a good rest, ( ) you'll get ( ).							
(2) あなたのご出身はどちらですか。							
Where ( ) ( ) from?							
(3) リディアはなんと役に立つ辞書を持っているんだろう。							
( ) a useful dictionary Lydia ( )!							
(4) この靴はなんと高価なんだろう。							
( ) expensive these shoes ( )!							

## Comprehension Check

Unit 1

CD

- **1** 日本文の意味を表すように、( ) 内の語を並び替え、英文を完成しなさい。(文頭にくる語も小文字で示しています。)
- (1) その怒った男はテーブルを粉々に壊した。

The (table / man / broke / the / angry) to pieces.

(2) 彼女の笑顔はぼくを幸せにする。

( makes / happy / smile / her / me ).

(3) 私たちは彼女が警察官だとわかった。

(a/we/her/police officer/found)

(4) フレッドは私にロンドンから絵葉書を送ってくれた。

(postcard / me / Fred / sent / a) from London.

(5) 子どもたちはみんな式のあいだ静かにしていた。

All (children / silent / remained / during / the) the ceremony.

(6) 彼女は夫に新しいスーツを新調してあげた。

She ( new / for / a / suit / made ) her husband.

#### 2)次の各組の英文を、日本語に訳しなさい。

- (1) **a**. We found a nice Italian restaurant near our campus.
  - b. We found him intelligent.
- (2) a. The students didn't keep quiet during the lecture.
  - **b**. The dog's barking kept me awake all night.
  - c. How long will this cake keep?
- (3) **a**. The girl looked happy.
  - **b**. The girl looked at the new doll happily.
- (4) **a**. I'm going to get a digital camera for my mother.
  - **b**. It's getting dark. Let's go home.
- (5) **a**. My mother made my sister a new dress.
  - **b**. My mother made my sister happy.

#### 3 次の各文を英語で表現しなさい。

- (1)「どうやって通学しているの」「バスで」
- (2) あなたは宿題をしなかったでしょう。(付加疑問文を用いて)
- (3) 彼女はなんと美しく歌うのでしょう。(感嘆文を用いて)
- (4) 急ぎなさい、さもないと学校に遅刻しますよ。(命令文、or ~ を用いて)

# Unit 2 時間の表現 I

>>> 時間と時制

現在や過去や未来という時間はことばの中でどのように表現されるのでしょうか。ことばの中で表現される時間のことを「時制」といいます。英語では、動詞の形を変えることによって「現在」の時制と「過去」の時制を表します。「未来」の時制は別の方法で示されます。

## 現在形の形と働き

(1) 現在形の形

現在のことがらを表すときの動詞の形を「現在形」と呼びます。

**be 動詞の現在形**は主語の人称と数に応じて am, are, is という 3 つの形に変化します。

#### be 動詞の be 動詞の 単数形 複数形 現在形 現在形 1人称 ı am we 2人称 you are you are 3人称 he/she/it 他 is they 他

I am a university student.

You are my best friend.

He is our new English teacher.

Mike and Tom **are** freshmen.

#### **否定文▶** 否定文をつくる場合、be 動詞の後に not を置きます。

#### 疑問文▶ 疑問文をつくる場合、be 動詞を主語の前に置きます。

疑問詞 (who, what, which, when, where, why, how など) がある場合は、 それを文のはじめに置きます。

My mother is not in the kitchen.

"Are you from China?" "No, I'm not. I'm from Korea."

"When is your birthday?" "It's January 18th."

"Who is Hideki Matsui?" "He's a famous baseball player."

その他のさまざまな動詞は一般動詞と呼ばれます。**一般動詞の現在形**は、主語が3人称単数形のときのみ、動詞に-s または-es がつきます。

	単数形	一般動詞の 現在形	複数形	一般動詞の 現在形
1人称	I	play / go	we	
2人称	you	play / go	you	play / go
3人称	he/she/it 他	plays / goes	they 他	

CD ▶06 We play soccer every weekend.

My father usually goes to work at eight.

**否定文▶** 否定文をつくる場合、動詞の前に do not [don't] または does not [doesn't] を置き、動詞を原形にします。 does not [doesn't] は主語が 3 人称単数形のときに用います。

I do not [don't] listen to classical music.

She does not [doesn't] speak French.

疑問文▶ 疑問文をつくる場合、do または does を主語の前に置き、動詞を原形にします。does は主語が3人称単数のときに用います。疑問詞がある場合は、それを文のはじめに置きます。

"Do you like baseball?" "No, I don't."

"Does John study Japanese?" "Yes, he does."

"Where do you live?" "I live in Tokyo."

#### (2) 現在形の働き

現在形は、次のようなことがらを表すために使われます。

(1) 現在の状態 I belong to the tennis club.

Mary is sick in bed.

(2) 現在の習慣 Ann gets up at seven every morning.

We usually walk to school.

(3) 一般的な真理・事実 The earth moves around the sun.

Oil floats on water.

出身を表す場合や、天候の特徴を表す場合にも現在時制が用いられます。

We **come** from Australia. (=We **are** from Australia.)

It **snows** a lot in winter.

## Exercise

次の文を()内の指示にしたがって書き換えなさい。

- (1) That is Tom's sister. (yes/no で答える疑問文に)
- (2) It rains a lot here in the summer. (否定文に)
- (3) John usually drives to work. (yes/no で答える疑問文に)
- (4) I take a shower every morning. (主語を He に代えて)
- (5) James sometimes jogs in the park. (主語を James and Lisa に代えて)